

地域名 南佐久郡小海町 五箇地区
 特徴的な被害対策 ワイヤーマッシュ柵（縦使い）によるニホンジカ被害対策

1 地域の概要

集落戸数	うち農家	加害鳥獣	被害農作物等	備考

2 実施した被害対策の内容

区分	実施に当たって工夫等したポイント	
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> 五箇地区大ぼうじ野菜団地は、戦後の開拓地で周囲を山林に囲まれ、ニホンジカによるはくさい等の食害や踏み荒らしが発生しており被害は年々増加傾向にあった。 山林に隣接するほ場では、部分的にネット柵を設置して防除していたが、侵入されることが多く、対応に苦慮していた。 このため、今年の春から防護柵の設置に着手し、470mを施行した。 効果的な防護柵の設置方法や補助事業について、被害対策チームに相談があり、小海町も含めて現地調査を行い、防護柵の種類や設置方法について説明し、大ぼうじ野菜団地の受益者3名で検討した結果、ワイヤーマッシュ柵を設置することとなった。 	
被害対策	防除対策	ワイヤーマッシュ柵 L=1,363m、縦支柱 48.6 × 2.5m、横支柱 25 × 5.5m、ワイヤーマッシュ目合い15cm <ul style="list-style-type: none"> 維持管理、侵入防止効果、費用対効果からワイヤーマッシュ柵を選択。なお、ニホンジカが対象であることから縦使いとした。 受益者3名による直営施工とし、縦支柱の打ち込みはバックホーを利用。 設置にあたっては、林地との距離や土手の高さに配慮。
	生息環境対策	<ul style="list-style-type: none"> 春先に農地と山林との境の藪払いを実施。
効果	被害状況	効果の検証は来年となるが、被害が大幅に軽減されると見込まれる。
	その他特記事項	
住民の方からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> 受益者が3名のため、合意形成がスムーズに進んだ。 受益者所有のバックホー利用により、作業が効率的に出来た。 	

3 これからの課題

失敗した事柄	
--------	--

これからの課題	野菜団地の入り口道路部分の侵入防止策（ゲートの設置等）
---------	-----------------------------

4 成功に至ったポイント

野生鳥獣被害対策支援チーム	
---------------	--

5 問合せ先

佐久地区野生鳥獣被害対策チーム

（佐久地方事務所農政課 電話0267-63-3144）



被害対策に向けた打合せ・事前調査の状況

	
ネット柵の設置状況	農業者、町、野生鳥獣被害対策チーム合同の調査

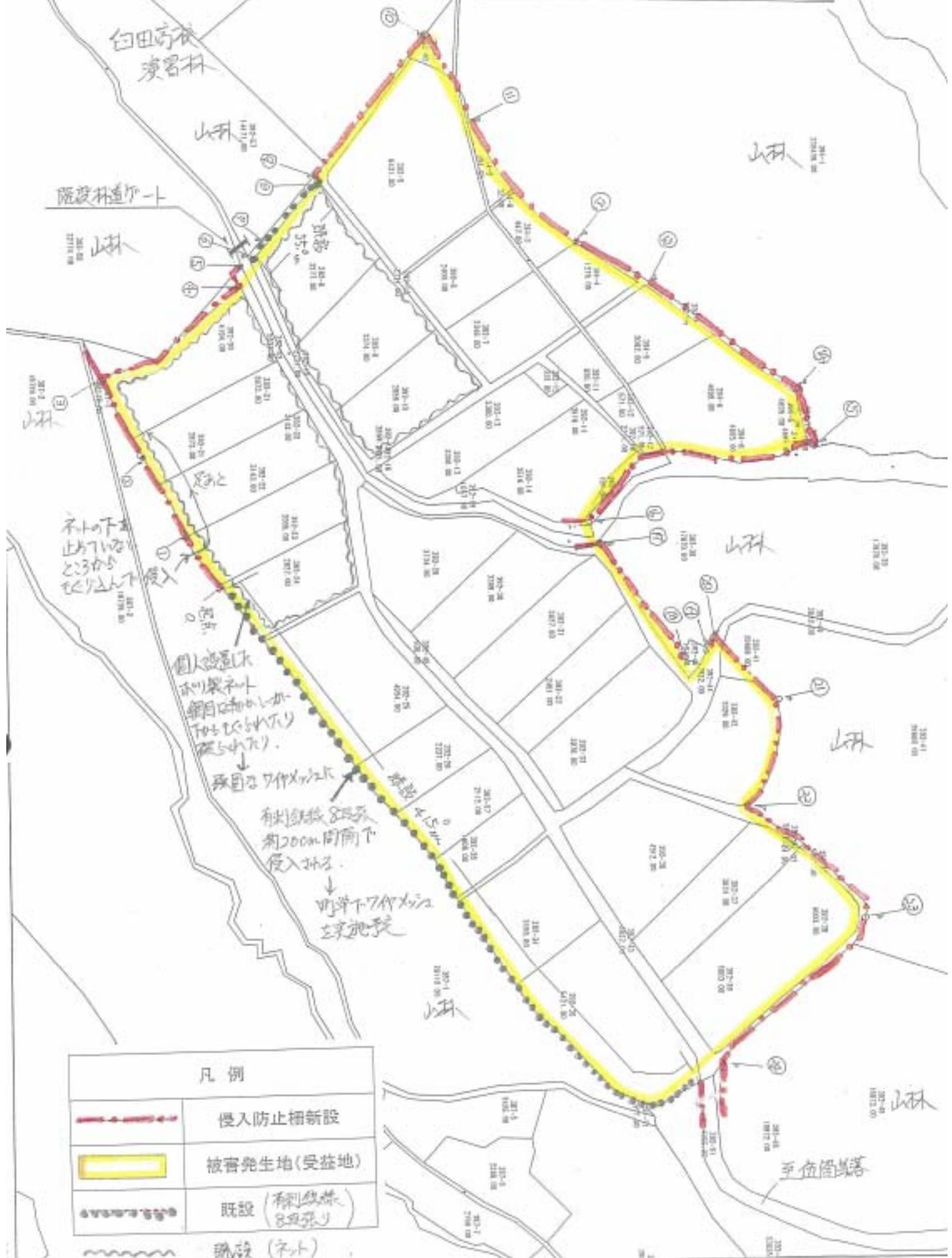
集落ぐるみで防護柵設置作業

	
ワイヤーメッシュの固定作業	設置状況







被害発生と被害防止施設設置場所

侵入防止柵設置工事 小海町宇大ぼうじ



凡例

	侵入防止柵新設
	被害発生地(受益地)
	既設 (有刺鉄線 80cm)
	既設 (ネット)